

「在韓日系企業インターン実習プログラム」オリエンテーション

インターン実習プログラムは、在韓日系企業に韓国の大学生を1か月間派遣し実務実習を行い、日本企業の仕事の進め方や考え方を学び、学生自身の能力向上と共に、今後の日韓間の架け橋となる人材の育成を目指しています。また、日系企業の韓国におけるCSR活動や経営理念なども触れ、理解を深めることを狙いとしています。

今回は12回目の実施となり、588名の応募者の中から書類と面談選考の選考の結果、30名の学生を選抜、22社に夏季休暇中の7月と8月に受け入れて頂くことになりました。

オリエンテーションは6月24日、ソウル市内において、委託業者であるパーソルケコリア、事業の支援をいただいているソウルジャパンクラブの角館一輝常務理事にも同席いただきました。プログラムの説明、財団の紹介と国交正常化以降の日韓経済界の歩み、日韓の未来、グループ討議及び発表、日韓文化&経済クイズ、契約書手続きの説明の順で行われました。労働者派遣制度を活用し、「財団」と学生と雇用契約を結び、企業派遣前に社会人としての責任を持たせるようにしました。学生たちは真摯に学び、討論にも積極的に参加し、1カ月目標を明確にしながら、実習に向けての意気込みが感じられました。



書類選考から150名を面接し30名選抜



自己紹介とそれぞれの目標を発表



1カ月の実習を通して大きな学びがあることを願います。

企業の皆様のご協力に感謝いたします。
(成田)